

令和3年5月26日

【そんな人に私もなりたい】

先日の校長講話で、お世話になっていると気づいたら感じたら「ありがとうございます」と言える人になりましょうという話をしました。

実はこのように思ったのは、その少し前に「**えらいなあ。さすがだなあ**」と感心させられ、心揺れるできごとがあったためでした。

それは、そうじ中に私が昇降口前のパンジーに水をあげていると、そのそのうじをしていた5年生が「**校長先生が水をくれていたんですね。ありがとうございます**」と言ってくれたのです。

思わず、あまりにも丁寧にお礼を言われたので「**いつもではないですが、どういたしまして**」と、しどろもどろになりながらこたえました。

その後、「**感謝されてとても嬉しかったのですが、どうしてお礼を言おうという気持ちになったのですか？**」と尋ねました。すると「**自分は全然水をくれていなかったのに花が枯れずに咲いていたので。校長先生が水をかけているのを見て、そういうわけか、とわかったから**」との返事でした。

水をあげていないのに元気よく咲いていたパンジーに不思議さを感じる。その「Wonder」素晴らしい。その後、私の水をあげるという行為を見て、なるほどと2つのことがつながる。しかし、そこからが**さすがポイント**。それに気づいて、それに対して「ありがとうございます」という感謝の言葉が自然と言える……そんな人に私もなりたいです。



朝、昇降口に立っていると、いつも子どもたちが、いろいろな物を登校途中に探して持ってきて見せてくれます。

この日は「四つ葉のクローバー」でした。

Nさん「校長先生、これあったよ」

私「おお、四つ葉のクローバーだね。今日は〇〇ちゃん、きっといいことあるね」

Nさん「うん！！いいことあるよう!(^~)!」

Nさんは満面の笑みでこのように大声で言い放って、小走りで校舎内に消えていきました。

その後の1日。Nさんに良いことがあったのか……。

四つ葉のクローバーの威力。きっとあったに違いない(*~)v